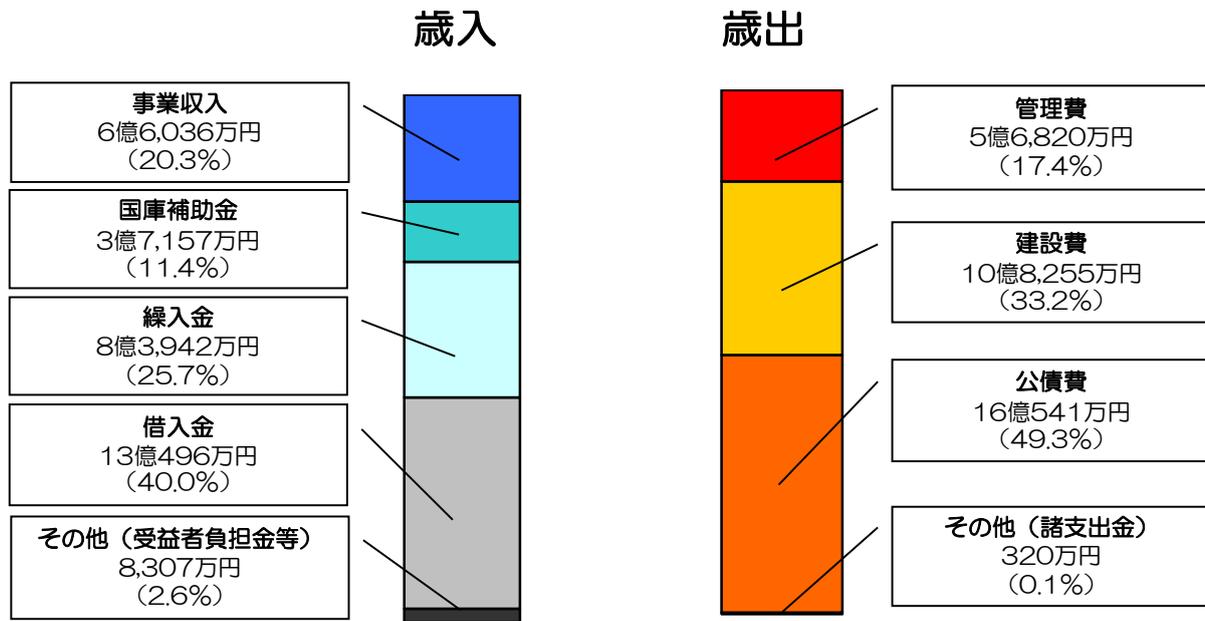


平成27年度下水道事業決算の概要

1. 決算の概要

歳入	32億5,938万円	A
歳出	32億5,936万円	B
歳入歳出差引額	2万円	A-B



平成27年度下水道事業特別会計決算額は、歳入が32億5,938万円、歳出が32億5,936万円であり歳入歳出差引額は2万円と黒字となりましたが、この全額が平成28年度への繰越事業に充てる財源として繰り越すため、実質収支は0円となりました。

(1) 主な歳入の内容

- 事業収入（下水道使用料等）は、6億6,036万円と前年度と比較して1,825万円の増加となりました。これは、温泉旅館2軒の下水道新規加入と、三温泉の旅館からの下水道使用料の増加によるものです。
- 繰越事業を含む建設事業が前年度に比べ大幅に増加したことにより、国庫支出金（国からの補助金）が3億7,157万円と、前年度と比較して2億3,671万円の増加、市債（借入金）が13億496万円と、前年度と比較して5億4,244万円の増加、繰入金（一般会計からの補助金）も8億3,942万円と、前年度と比較して947万円の増加となりました。

(2) 主な歳出の内容

- 管理費（施設の維持管理費）は、流域下水道管理運営費負担金の増加により、5億6,820万円と、前年度と比較して1,459万円の増加となりました。
- 建設費（施設の建設改良費）は、平成26年度分からの繰越事業が増加したことにより、10億8,255万円と、前年度と比較して6億3,135万円の増加となりました。
- 公債費（借入金の元利金返済）は、借換えに伴う繰上償還金の増加により、16億541万円と、前年度と比較して1億6,123万円の増加となりました。

(3) 主な事業の内容

- 調査計画策定事業については、市全域の生活排水処理構想の見直し案を作成するとともに、公共下水道事業計画全体の検討をし、また、下水道事業業務継続計画（BCP）を作成しました。
- 公共下水道事業では、片山津処理区として打越町、高塚町、梶井町ほか、大聖寺川処理区として山中温泉長谷田町、山代温泉10区、大聖寺松島町ほかで管渠等の整備を進めました。
- 農業集落排水施設事業では、三木地区において、管路工事に着手しました。